

平成31年度
事業計画書

公益財団法人燕三条地場産業振興センター

【1】新市場販路開拓事業

○ 事業費：21,258 千円

○ 財 源：事業収入 5,560 千円 市負担金 15,698 千円

☆ 事業の重点

- ◇ センター職員が他地域の発注案件を有する企業や成長ビジネス関連分野などの有力企業への訪問や他地域展示会に出展し、燕三条地域の加工技術等を PR して新規受注獲得につなげる。
- ◇ 地域企業と技術系・専門分野展示会への共同出展や首都圏で開催される商談会に参加して地域産業の PR、販路拡大を推進する。

(1) 受注促進・販路開拓支援事業

(事業費：21,258 千円 財源：事業収入 5,560 千円 市負担金 15,698 千円)

① 地域外企業訪問による受注促進

地域で対応可能な案件を有する成長産業分野の企業等への個別訪問

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進

1) 首都圏における新規案件の情報収集

2) 有力企業への当地域企業の PR と受注開拓

目標値：引き合い件数 700 件、成約件数 60 件

③ 燕三条地域企業との技術系・専門分野展示会へ共同出展等による受注促進

1) 機械要素技術展及び関西機械要素技術展に加え、専門性の高い展示会に地域企業と共同出展して地域産業の PR を行い、地域企業の受注促進を図る。

【出展展示会】

	時期	期間	小間数	共同出展	目標件数	
					引合い	成約
高精度・難加工技術展(新規)	9 月	3 日間	4 小間	8 社	100 件	10 件
関西機械要素技術展	10 月	3 日間	2 小間 (3 小間)	5 社 (9 社)	70 件	7 件
機械要素技術展	H32.2 月	3 日間	6 小間 (7 小間)	19 社 (23 社)	200 件	20 件

2) 産業集積地で開催される展示会に出展して地域産業の PR を行い、地域企業の受注促進を図る。

	時期	期間	小間数	目標件数	
				引合い	成約
おおた工業フェア 2020	H32.2 月	2 日間	1 小間	20 件	3 件

④ 首都圏商談会参加による受注促進【新規】

地域企業を募り、首都圏で開催される商談会に参加して受注促進を図る。

⑤ ものづくり企業ナビの情報拡充

登録企業の情報更新と併せて企業の「強み」を経営者や担当者と共に考え、その強みをものづくり企業ナビに反映し、検索時の絞り込みの効果的なツールとする。

⑥ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約 650 社に引合い・セミナー案内、産業振興部の活動報告などを掲載したリサーチコア通信を FAX 送信し、地域企業の事業活動を支援する。
- 2) 展示会などで名刺交換した企業担当者及び企業訪問で面会した担当者に対し、燕三条地域企業の加工技術や新商品、展示会出展情報を電子メールなどで紹介するほか、地域の加工技術を要約したリーフレットを DM 発送して展示会への来場及び燕三条地域企業への問い合わせを促すきっかけとする。

【2】 企業開発力強化事業

○ 事業費：67,758 千円

○ 財 源：事業収入 14,075 千円

市負担金 53,083 千円 民間助成金収入 600 千円

☆ 事業の重点

◇ ものづくりフォーラムで技術シーズの掘り起こしを行い、研究会では得られた成果を地域企業へ還元して技術力向上を目指す。

◇ 日本海側最大級の展示商談会「燕三条ものづくりメッセ」を開催し、燕三条地域企業の技術力発信とビジネスマッチングを促進する。

(1) 産学連携共同研究開発事業

(事業費：4,771 千円 財源：事業収入 1,265 千円 市負担金 2,906 千円

民間助成金収入 600 千円)

当地域企業の有する既存の加工技術と新たな要素技術を組み合わせることによる開発力の強化を図り、さらに大学等と連携を深めることで技術力向上を目指す。

① ものづくりフォーラム【新規】

地域企業の技術力向上に寄与するため、難加工材料や各種加工技術をテーマとした最近のトピックを提供し、大学や先端企業との連携を促進する。

② 専門研究会

1) 溶接・接合技術研究会

生産技術力の向上に資するため最新の溶接技術情報の提供や有力企業の工場視察等を行う。

2) 表面処理技術研究会

当地域の基盤技術の一つである金属の表面処理について、ファインバブルの利用による前処理工程の効率化等の検討を行うと共に最新の技術情報を提供する。

3) IoT センシング技術研究会

生産現場の IoT(インターネットを使って生産や商品の管理などを行うこと)活用を促進し、生産性を向上させるため、基礎実験や情報提供等を行う。

4) カutting技術研究会

製品の特性によって必要とされる材料でも加工条件に関する情報が少ない物もある。このような材料の切断、切削など、従来の加工技術では対応が困難な材料の加工技術を探求する。

(2) 技術開発総合支援事業

(事業費：7,059 千円 財源：事業収入 1,610 千円 市負担金 5,449 千円)

地域企業が抱える課題の解決や技術開発、生産性や利益率向上を技術的な側面から支援することを目的とする。

① 知的財産権相談

当地域企業の開発製品や製造技術などの特許、意匠、商標について、専門家からの助言をいただく特許相談会を定期的実施する。また、相談の多い事案を元に知財セミナーなどの開催を検討する。

② 技術専門家派遣

企業や大学教員のOB等の専門家による技術指導によって、地域企業の課題解決と体質強化を促進する。また、開発案件への対応に重点を置いて専門家を派遣する。

③ 職員による技術相談

地域企業から寄せられる加工上の不具合対策や各種の技術的な相談に対して対応する。また、相談対応が、地域企業の課題解決によるノウハウ蓄積や技術開発に結びつくよう注力する。

④ 機器利用促進

地域企業において生産上のトラブルが発生した際の初動に機器を利活用いただくための説明会を開催する。また、新規導入設備の紹介や広報活動を積極的に行い機器の利用促進に努める。

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業

(事業費：55,928千円 財源：事業収入11,200千円 市負担金44,728千円)

地域出展企業と来場者等とのビジネスマッチングを目的とした展示商談会を開催する。地域外からの来場者増と商談件数増に注力する。

① 名称：燕三条ものづくりメッセ2019

② 会期：2019年10月17日(木)～18日(金)

③ 会場：燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール、リサーチコアデザインギャラリー他

④ 出展規模：260社程度

⑤ 出展団体：燕三条地域で優れた技術を有しながら未出展の企業の出展を促す。

- ・ 燕三条地域企業：130社(平成30年度132社)
- ・ 燕三条地域外企業：130社(平成30年度129社)

⑥ 来場者数：目標13,000名

(平成30年度12,458名、平成29年度11,267名、平成28年度8,651名)

⑦ 展示会概要

- ・ 展示会での商談、ビジネスマッチング
- ・ 学会連携講演会
- ・ 著名人による特別講演
- ・ 技術系イベント

【3】 燕三条ブランド推進事業

○ 事業費：52,585 千円

○ 財 源：事業収入 474 千円市負担金 52,111 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 燕三条 Wing を活用し、燕三条産業の見える化・見せる化による発信により、ブランド力の向上を図る。
- ◇ 燕三条を発信するツールの改善により、地域のイメージアップを促進すると共に、質の高いポータルサイトとしての運用と継続的な情報発信を行う。
- ◇ 地域資源を活用した商品開発ワークショップや、デザイン賞取得に関する通年による支援などにより、「ものづくりのまち 燕三条」の基盤強化を進める。
- ◇ 燕三条ブランド事業推進会議を開催し、プライドプロジェクト活動の体制及び今後の方向性について検討を進める。
- ◇ 「燕三条 工場の祭典」実行委員会事務局として、実施に向け支援する。

(1) 燕三条ブランド推進事業

(事業費：52,585 千円 財源：事業収入 474 千円 市負担金 52,111 千円)

① 「燕三条 工場の祭典」

燕三条地域産業のイメージアップと製品 PR を図るため、地域企業や市と連携して一般来場者へ工場を開放する燕三条工場の祭典実行委員会事務局を担う。地域企業の生産現場を全国から集まる消費者やバイヤー等から見ていただき、高品質な燕三条製品への理解と燕三条地域産業の認知度を向上し、販路拡大を目指す。

② 燕三条 Wing の発信力強化

燕三条の産業観光、企業、技術を発信する場としくみのためのさらなる整備を行い、燕三条ブランドの推進を図る。

③ プライドプロジェクト事業

各種プライドプロジェクトの支援により燕三条ブランドの推進を図る。

- ・ 燕三条「畑の朝カフェ」の企画運営
- ・ 燕三条まちあるきの企画運営
- ・ まちあるきブックの作成【新規】
- ・ グリーンツーリズム事業の支援
- ・ ブランディングアートプロジェクトの実施
- ・ プロジェクトでの開発品展示による地域開発力 PR のための出展支援

④ デザインギャラリーの活用

国内外デザイン賞を受賞した商品等の展示により地域の PR を行う。

⑤ プロユースに特化した商品開発事業の実施

首都圏で活躍する情報発信力・著名性の高いシェフと地域企業によるプロ向け商品開発ワークショップを開催。プロの使い手のニーズを汲んだ開発力の強化と、発信力の高いシェフを介した小ロット特注品に訴求し、燕三条ブランドの基盤強化を図る。

⑥ 国内デザイン賞取得支援

グッドデザイン賞へ取組む企業を増やす為、応募説明会の開催や同賞に関する通

年でのアドバイスを行う。また、リサーチコアデザインギャラリーや丸の内グッドデザインストアでの受賞展示を開催し、全国屈指の受賞数を誇る燕三条のデザイン開発力をPRする。

⑦ 燕三条観光情報等発信事業

- ・ 広域観光ガイドブックの全面的な見直しにより、燕三条の新たな魅力を発信するツールとしての活用を促進する。
- ・ 観光情報サイトの改善と機能の強化により、質の高いポータルサイトへの転換をはかり燕三条のイメージアップと継続的な情報発信を行う。

⑧ 商品企画・デザイン個別相談

地域企業からの商品企画、デザイン開発の相談対応や外部デザイナーとのマッチングを行い、地域ブランド力向上の基盤となる開発力向上を支援する。

⑨ 燕三条ブランド事業推進会議の開催

プライドプロジェクト活動の体制及び今後の方向性等について検討する。

⑩ 燕三条ブランドマーク使用認証の推進

燕三条ブランドの拡大ため、燕三条ブランドマークの周知と使用認証の推進を図る。

⑪ 地域デザイン団体活動支援

燕三条デザイン研究会・つばめデザイン研究会の活動に対するサポートを行う。

【4】企業人材育成事業

○ 事業費：14,242 千円

○ 財 源：事業収入 5,052 千円 市負担金 9,190 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 地域企業の人材育成を支援するため、事務・営業系社員を対象とした経営系研修や企業の技術・製品PRのツールとなる情報系研修を開催し、基礎力・情報発信力の向上を狙う。
- ◇ 地域企業の人材育成を支援するため、材料、設計、製造技術の基礎に重点を置いた技術研修を開催し、基礎力の底上げを狙う。
- ◇ 新事業立ち上げや新製品開発などを戦略的に支援するため、専門家を継続的に派遣して対応する。

(1) 技術力強化支援事業

(事業費：3,909 千円 財源：事業収入 3,909 千円)

地域企業の人材育成と開発力向上を図るため、新入社員から中堅技術者を主なターゲットとした各種技術研修を開催する。

① 新人基礎コース (1 コース)

1) 図面の見方と金属材料と加工基礎講座 (6 時間×3 日間、15 名)

主に技術系の教育を受けずにものづくり現場に配属された入社3年までの社員を対象とし、図面の見方、各種材料の特性や加工技術等の基本を習得する講習会。

② 技術基礎コース (4 コース)

1) 金属材料基礎講座 (2 時間×12 日間、20 名)

主に鉄鋼材料や軽金属材料の特性や用途などの基礎的知識を習得する講習会。

2) 図面の見方・描き方入門講座

(2 時間×9 日間 前期コース 15 名 後期コース 15 名)

図面から必要な情報を読み取る力と JIS 規格に基づいた基礎的な製図法を習得する講習会

3) 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座 (2 時間×5 日間、15 名)

製造現場で頻繁に使われる力学、三角関数、化学反応などの基本を身につける講習会

4) 3D-CAD/CAE 入門講座 (3 時間×5 日間、15 名)

基礎的な 3D-CAD の操作を学び、CAE を使いこなすために必要な知識の習得と CAE ソフトウェアを用いて変形や破壊を数値解析するための基本を学ぶ。

5) 機械要素・設計基礎講座 (3 時間×3 日間、15 名)

機械装置などの設計スキルを身につけるために必要となる要素技術を習得する。

③ 専門分野集中研修コース (5 コース)

1) 溶接技術集中講座 (3 時間×3 日間、15 名)

溶接作業を行う上で知っておく必要のある金属材料の基礎、各種溶接技術、材料の溶接特性などを学ぶ講習会。

2) プレス加工集中講座 (3 時間×4 日間、15 名)

- 曲げ加工、絞り加工、せん断加工の基礎知識と応用技術を習得する講習会
- 3) 表面処理集中講座 (3 時間×3 日間、15 名)
めっきや腐食など金属表面で起こる現象の基礎的な理解を深める講習会
- 4) 熱処理集中講座 (3 時間×3 日間、15 名)
鉄鋼材料の熱処理、表面硬化法などの基本を習得する講習
- 5) 知財活用技術講座 (3 時間×3 日間、10 名)
特許、実用新案などの知的財産について理解し、自ら出願できる能力を習得する講習会
- ④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース (1 コース)
- 1) 燕三条ものづくり現場改善基礎講座 (2 時間×6 日間、20 名)
生産現場の「見える化」による現場改善についての考え方を実践的に学ぶ講習会
- (2) 経営力強化支援事業
(財源：10,333 千円 財源：事業収入 1,143 千円 市負担金 9,190 千円)
- ① 企業向け情報・経営系研修会の開催
業務に活用できる企業向け研修会、セミナーを開催する。
〈情報系〉
- 1) エクセル活用講座 (2h×5 回、10 名)
- 2) ネット販売のための商品撮影集中講座 (2h×3 回、10 名)
- 3) イラストレーター講座 (2h×3 回、8 名)
- 4) WordPress 入門講座 (2h×4 回、10 名)
- 〈経営系〉
- 5) 若手社員のコスト意識の育成講座 (2h×3 回、10 名)
- 6) 営業力強化セミナー (2h×3 回、15 名)
- 7) 事務職のための業務改善研修 (2h×3 回、10 名)
- 8) 人材確保と育成の仕組みづくりセミナー (2h×3 回、10 名) 【新規】
〈公開セミナー〉
- 1) 商品開発のためのマーケティングや販路開拓に関するセミナー(年 2 回)
【新規】
- ② 経営力強化のための個別相談事業
地域企業からの生産管理、商品企画、販路開拓、IT 活用などの企業経営に関する相談に対応するため、直接企業へ専門家を派遣して個別に指導・助言を行う。
- ③ 情報機器・Wi-Fi 環境整備
- 1) 情報研修室パソコンの更新 (リース)
- 2) リサーチコア研修用エリアの Wi-Fi 環境整備
- ④ 広報活動の強化
- 1) 広報誌リサーチコアレポートを年 3 回程度発行し、リサーチコアの企業向け各種支援事業の PR を行い、リサーチコアの利用促進を図る。
- 2) 燕三条地域の各支援機関が実施する各種研修事業を、目的別に全コースを掲載したパンフレットを作成する。
- 3) センター事業/展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況情報などをホームページに「ビジネス情報提供」として掲載する。また、毎月配信

しているメールマガジンにおいても同内容の情報を配信して、リサーチコアの利用促進を行う。

⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

- 1) センターにて運用している各種ホームページの更新・改訂および管理を行う。
- 2) センターおよび燕三条 Wing のフリースポットの管理・運営を行う。

⑥ 情報関連機器の維持管理他

- 1) 各種サーバ、IT 機器のメンテナンスとバックアップ。
- 2) センター内ネットワークの維持管理

【5】海外販路支援事業

○ 事業費：56,843 千円

○ 財 源：事業収入 1,320 千円 市負担金 55,523 千円

☆ 事業の重点

- ◇ アジア・欧州での継続的な販路支援に加え、地域企業に有益と思われる展示会に新規出展し、新たな販路開拓を行う。
- ◇ 相互補完可能な海外地域との連携により、最終製品以外のビジネスマッチングによる新分野への進出を目指す。
- ◇ 周辺自治体・機関との協働により「ものづくりの魅力」発信を中心としたインバウンド誘客活動を行う。

(1) 海外販路支援事業

(事業費：56,843 千円 財源：事業収入 1,320 千円 市負担金 55,523 千円)

① 海外展開に関する相談対応

海外事業に関する相談窓口として販路開拓等の活動支援を行う。

② 燕三条製品の海外販路開拓支援

欧州での世界最大の消費財見本市に加え、アジアまたは米国の有力な展示会に新規出展し、販路開拓支援チャンネルを拡大する。また、東南アジアの有力百貨店等にてテスト販売を開催し、市場性の調査及び店舗への導入を図る。中国では EC プラットフォームを活用した販路の開拓を行う。

1) アジアまたは米国展示会への出展【新規】

・NY NOW (ニューヨーク：8月) Interior Lifestyle China (上海：9月) など

2) 欧州展示会への出展

・アンビエンテ 2020 (フランクフルト：2月)

3) 東南アジア有力百貨店等でのテスト販売【新規】

・シンガポールまたはマレーシア (予定)

4) 中国 EC プラットフォームの活用 (成都・重慶)

③ 海外向け商品開発力の強化【新規】

海外マーケットに適合した商品を生み出すため、県内在住外国人や海外の有識者などを招聘し、商品モニタリングなどによるアドバイスを頂き、海外向け商品開発力の強化を目指す。

④ 台湾との国際産業クラスター交流

台湾・金属工業研究発展センター (MIRDC)、台日産業連携推進オフィス (TJPO) 等と連携し、台湾企業を招聘。産業クラスターの連携による新分野への進出を目指す。

⑤ インバウンド事業の実施

周辺自治体と協働し、ものづくりの魅力発信を中心としたインバウンド誘客を行う。また、燕三条地域におけるインバウンド誘客のスキルアップを目的としたセミナーを開催する。

1) セールスコール・旅行博出展 (シンガポール・台湾・タイ・国内商談会等)

2) インバウンドセミナーの開催【新規】

3) SNSによる燕三条地域の情報発信（物産観光課連携）【新規】

⑥ 海外展開に関するセミナーの開催

海外展開に必要な知識習得の場として、企業ニーズに即したセミナーを地元業界団体と連携して開催する。

- 1) 地域別の海外情報セミナー
- 2) 海外展開リスク管理セミナー【新規】
- 3) 貿易実務講座
- 4) 海外取引契約実務講座【新規】

⑦ 外国人留学生との交流・活用

長期的な海外販路開拓、インバウンドへと繋げるため、外国人留学生とのネットワーク作りを推進する。また商品モニタリング等でネットワークの活用を図る。

- 1) 地域企業のスタディツアー開催（2回）
- 2) 商品モニタリング等、事業への参加【新規】

【6】 需要開拓事業

- 事業費：455,970 千円
- 財 源：事業収入 537,634 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 展示即売事業については、「ものづくりのまち燕三条」を代表する観光物産館に相応しい売り場づくりを継続的に展開する。
- ◇ 産業観光の推進を継続的に行い顧客満足の上昇を図り、燕三条製品の販売拡充につなげる。
- ◇ 外国人観光案内所の認可の一つ上のステージを目指す。
- ◇ 外国人観光客に楽しんでいただけるよう様々なアプローチを施す。
- ◇ 燕三条駅観光物産センター事業ではデザイン性の優れた商品などを展示販売することで、燕三条の認知度向上及びイメージアップを図る。

(1) 展示・即売事業

(事業費：378,141 千円 財源：事業収入 462,544 千円)

- ① 新商品や話題商品を広く PR するための各種イベントを開催し、地域観光拠点の場を確立する。
- ② 地場産業に関連する包丁研ぎ実演やスプーン研磨体験の他、新商品モニタリング等の場を提供することで、「ものづくりのまち燕三条」を代表する観光物産館に相応しい店舗を目指す。
- ③ 外国人観光案内所カテゴリー 2 の認定を目指す【新規】
- ④ 英語による燕三条地域の説明イメージ動画を制作し、スマートフォン（またはタブレット）と QR コードによる連携を図り、直感的に PR を行う【新規】

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業費：68,829 千円 財源：事業収入 75,090 千円)

- ① 新幹線利用者を中心に G マーク受賞商品等を展示する他、新商品や話題性のある商品を展開し、地場製品の PR を行うと共に即売を行う。
- ② 外国人観光案内所カテゴリー 1 の認可を受け、訪日旅行者の利便性を向上させ、商品の案内表示などを作成する。【新規】
- ③ 店内にデモンストレーションコーナーを定期的に設け、燕三条製品の良さを来館者へ PR する。
- ④ 来館者が観て楽しめるような、ものづくりのまちとして PR できる実演会を企画、実施する。

【7】収益事業

- 事業費：71,316 千円
- 財 源：事業収入 124,590 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 他地域の地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品のPRおよび販売促進を行う。
- ◇ 貸館利用促進のため営業活動を充実させ、利用率の向上を図るとともにお客様とのコミュニケーションを大切にし、満足していただけるサービスを心がける。
- ◇ レストランの利用を促進するとともに、会場利用者へお弁当や飲み物の提供を行う。また館内に設置してある自動販売機の管理を徹底し、売上ロスを少なくする。

(1) 他地域連携販売事業

(事業費：32,571 千円 財源：事業収入 38,750 千円)

他地域の地場産センターまたは他道の駅と連携した魅力あるイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品の販売拡大を行うと同時に、地場産業に関連するイベントを併設することで、「ものづくりのまち燕三条」を効果的にPRする。

(2) 貸館事業

(事業費：22,154 千円 財源：事業収入 65,980 千円)

- ① 多目的大ホールを中心とした営業活動を充実する。
- ② 多目的大ホールでの Wi-Fi 使用を可能にし、利用者の利便性を図る。
※貸室全室での Wi-Fi 使用が可能となる。
- ③ 見本市展示会総合ハンドブックへ広告を掲載し展示会などを誘致する。
- ④ 利用者へのサポートを強化し顧客満足度を上げるよう努める。

(3) レストラン運営事業

(事業費：16,591 千円 財源：事業収入 19,860 千円)

- ① レストラン受託者の積極的なサポートを行う。レストランのPR、イベントの開催など受託者の便宜を図りながら、燕三条を食の面からイメージアップを図る。
- ② 貸館利用者などに対し、お弁当や飲み物を提供する。
- ③ 自動販売機の管理